

カナダ日本語教育振興会 2025 年度年次大会  
**CAJLE Annual Conference 2025**  
**Conférence annuelle CAJLE 2025**

デジタル時代の教師の役割  
The Role of Teachers in the Digital Age  
Le rôle des enseignants à l'ère numérique

於:ブリティッシュコロンビア大学, バンクーバー市, BC 州  
University of British Columbia, Vancouver, British Columbia  
Université de la Colombie-Britannique (Vancouver, Colombie-Britannique)

8 月 19・20 日 / August 19-20 / 19-20 août

－後援・協賛・協力 / Conference Sponsors・Supporters / Commanditaires・Supporters  
de la conférence－

The Japan Foundation, Toronto  
Prince Takamado Japan Centre for Teaching and Research  
Vancouver Japanese Business Association of Commerce and Industry (KONWAKAI)  
Listel Hospitality Group  
Blue Tree Management Ltd.  
Centre for Japanese Research, University of British Columbia  
Canadian Association of Second Language Teachers

－共催 / Co-organizer / Co-organisateur－

University of British Columbia  
Department of East Asian Studies, University of British Columbia  
Canadian Association for Japanese Language Education

【基調講演】

テクノロジーと教師の意思決定  
山田智久先生(西南学院大学)

【教師研修 I】

教師の役割を考える:AI ビギナーの旅  
中込達哉先生(国際交流基金 上級専門家、アルバータ教育省 日本語アドバイザー)

【教師研修 II】

Recognizing and Respecting Indigenous Cultures in the Japanese Language Classroom

Dr. Nancy Griffith-Zahner, Mr. Rome Lavrencic (CASLT, New Westminster Secondary School)

【教師研修Ⅲ】

教師の役割の再考～テクノロジーとの共存の観点から～  
山田智久先生(西南学院大学)

【口頭発表】

S1-1 生成 AI に欠けている能力を補うには？:生成 AI との共存を考える上で求められるカリキュラム変革について  
竹井尚子(サイモンフレイザー大学)

S1-2 中級日本語学習における生成 AI の効果的活用法—作文支援と自律学習の取り組みから  
青木裕美(ブリティッシュコロンビア大学)

S1-3 仮想キャラクターとの対話を通じた日本語口語能力向上:知識ベース連携型システムの開発と効果検証  
施列庭(輔仁大学)

S2-1 Beyond the Classroom with Purpose: Service Learning in a Japanese Language Course  
Sachiko Hiramatsu (Brown University)

S2-2 日本語教育プログラム運営における評価学的知見の活用—日本語教育プログラムにおける評価実践と理論の接続—  
丸山千歌(立教大学)、小澤伊久美(国際基督教大学)

S2-3 学生主導型教材開発とコミュニティ形成による日本語学習の成果報告  
石川比奈子、シャープ昭子(カルガリー大学)

S3-1 先住民教授法を用いたアイヌ民族に焦点をあてた上級日本語コースの実践報告  
小林ヒルマン恭子(ブリティッシュコロンビア大学)

S3-2 日本国内の多様性を考える日本語教育実践:アイヌ民族の教材を用いて (Zoom 発表)  
善積祐希子(トロント大学)

S3-3 Pedagogical possibilities of digital media in gender identity construction  
Motoki Long-Nozawa (University College London)

S4-1 生成系 AI 時代における日本語アカデミック・ライティング教育の方向性:ChatGPT 生成テキストと学習者のレポートの比較分析  
徐珉廷(昭和女子大学)

S4-2 アカデミック・ライティングの困難に対処するための情意的特性とは—専門知識の不足への対処に焦点を当てて—  
小森万里(大阪大学)

S5-1 親の言語インプット内の副助詞「ハ・モ」と動詞の自他の区別  
加山裕子 マントバ大学、大嶋百合子 マギル大学、ビクトリア大学

S5-2 Child Agency in Transnational Migration to Canada: How Does the Migration Affect Chinese-Japanese Children's Investment in Japanese as a Heritage Language? (Video)  
Kanae Obata (Tsinghua University)

S6-1 ヒドゥンカリキュラムとしての教科書の再検討 —職業と趣味に含まれる階層に着目して—  
小島祐子 (ウィスコンシン州立大学ミルウォーキー校、マルケット大学)、中川康弘 (中央大学・Zoom 参加)

S6-2 教師同士の対話を通じた包摂性に対する意識向上の実践  
田中香織、金梨花 (ブリティッシュコロンビア大学)

S7-1 生成 AI と言語教育の共生: アニメ・ドラマコースにおける活用事例とその展望  
吉村由紀 (マサチューセッツ大学アマースト校)

S7-2 生成 AI が存在する学習環境で求められる日本語授業の設計と評価  
齊藤 真美 (ベトナム国家大学ハノイ校 日越大学)

S7-3 中級日本語教育における AI 教材活用の影響 —SAMR モデルに基づく授業分析— (ビデオ)  
孫彤 (東京外国語大学)

S8-1 “Good” Writing for Intermediate Japanese Learners in Canada in the Technology Era  
Akiko Mitsui (York University)

S8-2 課題作成における”ツール”の使用を考慮した中級ライティング・コースの試み  
水戸淳子 (香港大学)

S8-3 “読むだけ”でいいの? —書かない時代の“書く力”を考える  
佐々木真実 (Carleton University)

S9-1 日本語母語話者と韓国人・中国人日本語学習者の視点と主観性表現の使用について —4コマ漫画のストーリーテリング談話の分析を通して—  
許 明子 (名古屋大学)

S9-2 デジタル時代における漢字教育 (Zoom 発表)  
小室リー郁子 (トロント大学)

S9-3 中・上級日本語学習者のための語彙定着支援プログラムの開発 —専門語彙・漢字語彙の習得促進を中心に—  
結城佐織 (アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター)

S10-1 自律学習におけるピアと教師の役割 —セルフスタディーに取り組む学習者の求める学習環境とは—

池田朋子 (マギル大学・Zoom 参加)、礮部靖世 (公立千歳科学技術大学)

S10-2 「教える」から、「デザインする」へ —COIL(オンライン国際協働学習)実践から見る教師の役割—  
橋本拓郎 (香港大学)、三戸勝 (ハワイ大学)

S10-3 海外日本語学習者との継続的な遠隔会話に見られる話題の推移  
吉田 睦 (早稲田大学)

S11-1 中上級日本語クラスにおけるポッドキャストの活用:総括的評価の実践とその展望  
上保 文絵 (マサチューセッツ工科大学)

S11-2 大学院理系留学生に求められる言語行動と文化理解 —研究室文化をふまえた日本語学習教材の開発—  
藤平愛美 (大阪大学)

S11-3 多様なレベルのベトナム人日本語既習者に対する自律的学習支援の効果  
レ・カム・ニョン (ベトナム国家大学ハノイ校・日越大学)

S12-1 自律的発音学習と教師の役割  
柴田智子 (プリンストン大学)

S12-2 海外で発音指導を行う教師の協働について考える (Zoom 発表)  
大戸雄太郎 (東京国際大学)

S12-3 笑いで人をつなぐ:デジタル国際交流における小喃活動の可能性  
西村裕代 (イェール大学)、大久保範子 (ノックスイングリッシュネットワーク)

#### 【ポスター発表】

P-1 「接続構文」の観点からみた逸脱文—主要部内在型関係節を例に—  
天野みどり (大妻女子大学)

P-3 ベトナムの大学における「就職面接プロジェクト」の実践から考える教師の役割 学習者のウェルビーイングに焦点を当てて  
グエン・ヴィエッティ、山川史 (ベトナム国家大学ハノイ校日越大学)

P-4 Rethinking Japanese Language Education: Plurilingual Pedagogy in Canadian Post-Secondary Classrooms  
Mingqi Zhang (Simon Fraser University)

P-5 生成 AI 時代における日本語アカデミックライティング:複言語使用者の「私のことば」を育む教育実践  
杉原由美、伴野崇生 (慶應義塾大学)

P-6 国際結婚家庭出身者の成人後の日本語学習動機 – 語りに基づく質的分析 –  
南波真知、田中順子 (神戸大学)

P-7 タスクベースのシラバスにおける自己表現の可能性:ある短期交換留学生の語りに着目して  
西野藍 (国際基督教大学)

P-8 On the fifth anniversary of the Covid-19 pandemic: Exploring learners' feelings toward assessment methods and AI-use assignments in college Japanese courses  
Naoko Nemoto (Mount Holyoke College)

P-9 教育観はいかに語られたか – 理工系研究室の教員に対するインタビュー中の「冗談」に着目して – (録音音声発表)  
福良直子 (大阪大学)

P-10 高次の学習・認知スキルの涵養を目指した国際オンライン協働学習のデザイン—ブルームのデジタル学習目標分類に基づいて—  
尹 智鉉 (中央大学)

P-11 CLIL を活かした継承語教育の実践:教室と社会をつなぐ学習デザイン (録音音声発表)  
吉澤明子 (マウントアリソン大学/モンクトン日本語センター)

P-12 「オンラインまるごと日本語講座」における成人学習者が期待する訂正フィードバックと教師が与える訂正フィードバック方法についての分析  
リベラトリわかな (国際交流基金トロント日本文化センター)

P-13 大学院共通科目における L1/L2 グループワーク談話の分析 (録音音声発表)  
渡辺文生 (山形大学)

**【パネルディスカッション】**

**Panel Discussion on Language Teaching in the AI Era**

UBC 言語教員によるパネルディスカッション